

平成29年度ホタテガイ採苗情報（第10報）

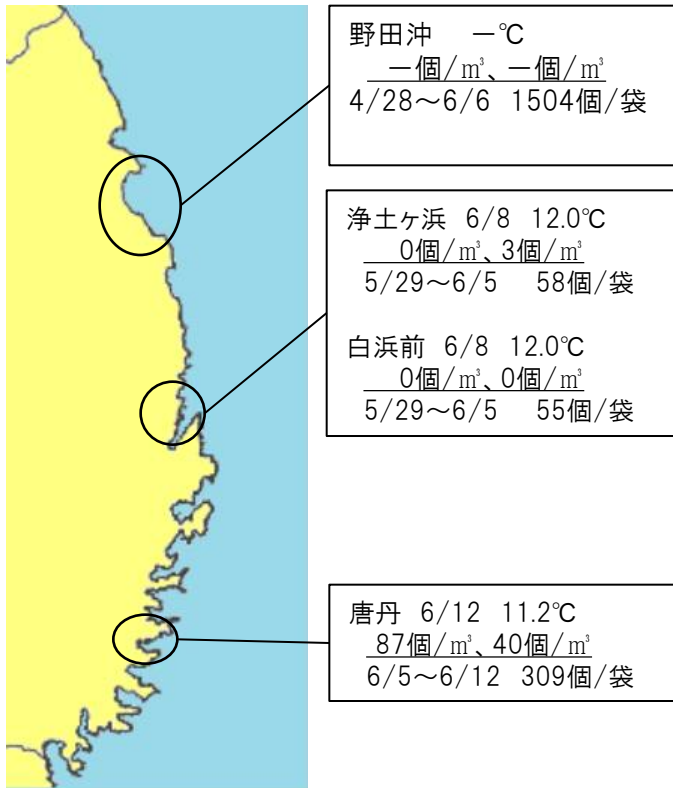
平成29年6月13日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



ピークを過ぎましたが、稚貝の付着は継続しています。

< 調査結果の概要 >
 ○ 唐丹湾での水深10m層の水温は11.2℃、透明度は7m（6月12日）。
 ○ 唐丹湾の小型ラーバの出現数は87個/トン（前回 96個/トン）、大型ラーバの出現数は40個/トン（前回 18個/トン）。
 ○ 1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数は309個/袋（前回 463個/袋）で、付着直後の稚貝の割合が7%、付着後1日以上経過している稚貝の割合は93%。
 < 宮城県の状況（6月8日発行ホタテガイ採苗通報（第9報） >
 全域で稚貝の付着が継続中。



調査点 調査日 水深10m層水温
 ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
 (国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月21日頃に発行する予定です。

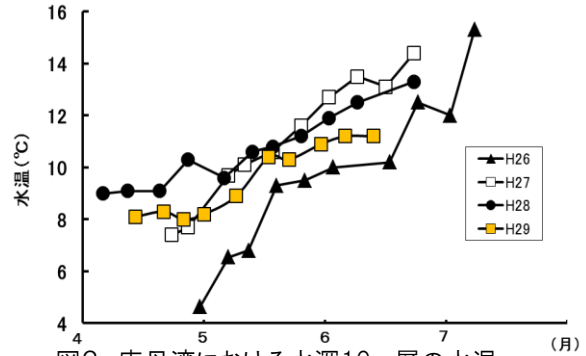


図2 唐丹湾における水深10m層の水温

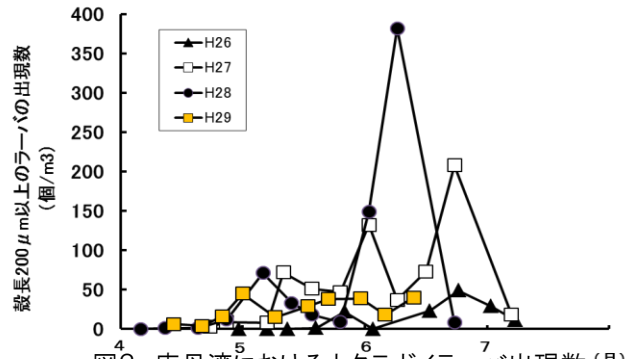


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

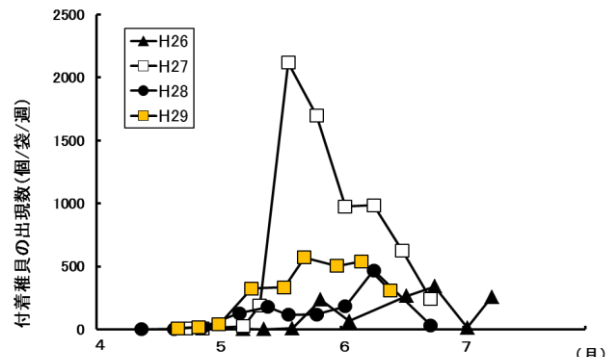


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数